平成 28 年
第 10 回南九州市農業委員会 総会議事録

1. 日 時 平成 28 年 10 月 31 日（月） 午後 2 時～

2. 場 所 南九州市穎娃保健センター集団指導室

3. 出席委員(35人)

会長 1 番 堀之内 和矢

会長職務代理 2 番 今市 範男

委員 3 番 宮原 俊郎 4 番 山脇 茂孝 5 番 中禮 隆一 6 番 東 鈴子
7 番 君野 潤二 8 番 武田 正喜 9 番 永山 明美 10 番 松村 孝徳
11 番 奥菌 克年 12 番 外菌 順子 13 番 松久保 英生 14 番 松永 正美
15 番 寶代 行廣 16 番 田中 泉 17 番 吉崎 重廣 18 番 下之門 信洋
19 番 梶山 俊孝 20 番 下永田 チサト 21 番 栗ヶ窪 和治
22 番 栢木 いさ子 23 番 東垂水 勝秀 24 番 仁田尾 三男
25 番 西牟田 實盛 26 番 武田 豊子 27 番 宮原 耕一 28 番 深町 幸子
29 番 吉崎 久男 30 番 小原 光則 31 番 有菌 正伸 32 番 大隣 講平
33 番 吉留 丘 34 番 有村 真知子 35 番 上野 茂

4. 欠席委員(人)

5. 議 題

- 開会の宣告
- 会長諸般の報告
- 事務局長諸般の報告
- 開議の宣告
- 日程第 1 会議録署名委員の指名
- 日程第 2 会期決定の件
- 日程第 3 議案審議に係る通知事案について
- 日程第 4 農業経営改善計画認定者の報告について
- 日程第 5 議案第 64 号 農業振興地域整備変更計画書（案）の意見決定
について
- 日程第 6 議案第 65 号 農地法第 3 条許可申請に対する許可について
- 日程第 7 議案第 66 号 農地法第 4 条許可申請に対する許可並びに諮問
決定について

- 日程第 8 議案第 67 号 農地法第 5 条許可申請に対する許可並びに意見聴取決定について
- 日程第 9 議案第 68 号 農業経営基盤強化促進法の規定による農用地利用集積計画に対する意見決定について
- 日程第 10 議案第 69 号 非農地証明願いについて
- 日程第 11 議案第 70 号 農業委員会法 38 条による要望書の草案の承認について
- その他 12
- 閉議の宣告
- 閉会の宣告

6. 農業委員会事務局職員

事務局長 芝原 和己 農政係長 加治佐和彦
 農地係長 福地 一浩 係員 橋村 将平
 知覧分室農政農地係長 上野 誠 係員 松元 久美
 川辺分室農政農地係長 山下 剛志 係員 川畑 和成

7. 会議の概要

開 会 午後 2 時

事務局長 定刻になりましたのでご起立願います。
 「一同 礼」
 ご着席願います。

議 長 それでは、出席確認を行います。ただいまの出席人員は 35 名で、会議の定足数に達しております。
 これより平成 28 年第 10 回南九州市農業委員会を開会いたします。

議 長 まず会長諸般の報告でございますが、議案資料の 96・97 ページをご覧ください。ただきたいと思えます。（諸般の報告をおこなう）

議 長 続きまして事務局諸般の報告に移ります。事務局長の報告を求めます。

事務局長 諸般報告をおこなう。

議長 只今の、会長・事務局長諸般の報告に対しまして、質問、ご意見はございませんか。

委員 「なし」の声あり

議長 ないようでございますので、これより本日の会議を開きます。会議に先立ちお願いをいたします。会議録作成に必要でございますので、質疑、意見等発言を求める委員は、挙手の上、自分の議席番号を言ってから発言してください。

議長 日程第1 会議録署名委員の指名をおこないます。会議録署名委員は会議規則第19条第2項の規定により23番 東垂水 委員、24番 仁田尾 委員、を指名し、会議書記に加治佐農政係長を指名いたします。

議長 日程第2 会期決定の件を議題に供します。
お諮りします。本会議の会期は、本日10月31日の1日間としたいと思いますが、ご異議ございませんか。

委員 「異議なし」の声あり

議長 異議なしと認めます。
したがって、会期は本日限りの1日間とすることに決定しました。

議長 続きまして、日程第3 議案審議に係る通知事案について、事務局の説明を求めます。

農地係長 それでは、議案審議に関する農用地利用集積計画 並びに、議案審議に関しない農地法第18条第6項及び農用地利用集積計画の合意解約について説明いたします。3ページからになります。

今回、農地法第18条第6項による通知事案は3件の合意解約がなされました。内容としましては、賃貸人が颯娃町〇〇の〇〇〇〇さん、賃借人は颯娃町〇〇の〇〇〇〇さん、ほか2件の申し入れです。解約の主導は3番は借人主導、他は貸人主導によるもので、解約の理由は3番は所有権移転のため、他は耕作者変更のためとなっております。地目の内訳は、畑が13筆29,815

m²で、穎娃地区であります。

続きまして、農用地利用集積計画による通知事案ですが、23件の合意解約がなされました。内容は、賃貸人が穎娃町〇〇の〇〇〇〇さん、賃借人は穎娃町〇〇の〇〇〇〇さん ほか22件の申し入れです。解約の主導は、すべて貸し人主導で、解約の理由は、2番から11番は耕作者変更、16番から19番は本人耕作のため、ほかは所有権移転によるものとなっております。地目ごとの内訳は、田が24筆、畑が8筆で合わせて32筆、36,068 m²の合意解約となります。地域別では、穎娃地域1件、知覧地域14件、川辺地域が8件となっております。以上でございます。

議 長 只今の事案について、質疑はありませんか。

梶山委員 7ページの16・17番の事由が本人耕作になっているのですが、これは鹿児島県の〇〇〇〇さんが自分で耕作するという事でしょうか。

川辺分室 実は、この16・17番は現在まで耕作されていた方が、土質が悪くてこれ以上耕作できないという事情で解約したもので、本人主導の表現が悪かったかと思いますが、所有者は耕作してくださる方がいれば、耕作してもらいたいという事でした。

議 長 よろしいですか。

梶山委員 解りました。

議 長 他に質問、意見はありませんか。

委 員 「なし」の声あり

議 長 質疑なしと認めます。只今の案件につきましては、あくまでも通知事案でございますので、ご了承いただきたいと思います。

議 長 続きまして、日程第4農業経営改善計画認定者の報告についてを議題とします。事務局に説明を求めます。

農政係長 農業経営改善計画認定者の報告についてご説明申し上げます。資料は、11ページになります。今回認定されたのは2件です。

先ず、穎娃町〇〇の〇〇〇〇さんです。これまで主に〇〇地域で、お茶4haと露地野菜の経営を両親と行ってきましたが、今後更なる経営の規模拡大を図り経営の安定化と省力化を図りたい考えです。経営改善目標を達成するために、農業委員会の優良農地のあっせんと、経営の合理化や生産方式の合理化に努めるとともに、制度資金等の活用を希望しています。

次に、知覧町〇〇の〇〇〇〇さんです。これまで、〇〇地域でお茶と原料用甘藷を中心に経営を行っていましたが昨年「たかな」を導入し年間を通した経営の安定と所得の向上を目指したい考えです。経営改善目標を達成するために、農業委員会の優良農地のあっせんや生産方式の合理化に、制度資金等の活用を希望しています。

議 長 只今事務局から報告のありました件について質問はございませんか。

委 員 「なし」の声あり

議 長 質問なしと認めます。只今の案件につきましても、あくまでも報告事案でございますのでご了承いただきたいと思います。

議 長 これより審議に入ります。まず、日程第5 議案第64号 農業振興地域整備変更計画書（案）の意見決定についてを議題といたします。まずもって現地調査員の報告をお願いいたします。

議 長 まず、穎娃地区の調査員の報告をお願いします。

西牟田委員 それでは、農業振興地域整備計画変更について現地調査の報告をいたします。審議番号1番ですが、申請人は穎娃町〇〇の〇〇〇〇さんです。申請農地は、穎娃町〇〇ほか1筆の畑で、申請面積は764㎡になります。申請人は茶、人参、青果用甘藷等を生産する農家です。現在所有する農業用倉庫が手狭になり、また老朽化していることから新たに倉庫1棟と、あわせて通路も整備しようとするもので、「農用地区域からの除外」となっております。申請地は、穎娃庁舎から〇〇に直線で〇〇の〇〇にあります。詳細は14ページから16ページの地図をご覧ください。申請地は、農用地区域内にありますが、他の農地には耕作道路が確保されているため、集団化及び作業効率への支障はなく、用排水路等に支障を及ぼす恐れもないものと判断しました。代替地については、数ヶ所検討しましたが適切な場所がみつからなかったとのことでありました。

これらのことから、農用地区域からの除外及び用途区分の変更については、やむを得ないものと判断しました。

議 長 次に、知覧地区の調査員の報告をお願いします、

武田正委員 10月18日、松村委員、事務局及び関係者立ち会いのもと、現地調査を実施しましたので、報告いたします。13ページ、番号2番です。
申請人は、曾於市〇〇の〇〇〇〇さんです。申請地は、知覧町〇〇ほか3筆、地目がすべて「山林」の7,810㎡です。変更理由は、太陽光発電に適した申請地に、太陽光発電施設を設置するものです。申請地は、地目が「山林」ですが農用地区域であるため、農用地区域からの除外申請をするものです。現地場所は、知覧庁舎から〇〇に直線で〇〇ほどの〇〇から南にいったところに位置します。詳細は、議案資料の17～20ページの地図をご覧ください。申請地は、農用地区域内にありますが、外周部に位置しており、他の農地には耕作道路が確保されているため、集団化及び作業効率への支障はないものと判断しました。代替地についても検討しており、適当な土地が見つからなかったとのことでした。このことから、農用地区域からの除外については、やむを得ないものと判断しました。現地調査の報告を終わります。ご審議方よろしくお願いたします。

議 長 ここで、事務局に補足がありましたら説明を求めます。

農地係長 それでは1番の補足説明をいたします。農業振興地域の変更条件には、代替地の検討、農地の集団化・作業効率への影響、用排水路への影響、土地改良事業等の有無について検討することとなっています。これらの条件につきましては、現地調査の報告のとおりであります。用排水路等への影響につきまして、南側道路側溝まで排水路を設ける計画であります。土地改良事業については、実施しておりません。これらのことから、農用地区域からの除外はやむを得ないものと判断される場所です。以上です。

知覧分室 番号2番について、補足説明いたします。農業振興地域の変更条件には、代替地の検討、農地の集団化・作業効率への影響、用排水路への影響、土地改良事業等の有無について検討することとなっています。代替地についての検討ですが、地盤が悪く造成費用が嵩み、工期的に長期化し採算性が合わないなど、適当な土地でなかったとのことあります。周辺農地の集団化・作業効率への影響については、他の農地には耕作道路が確保されているため支

障はないものと判断されます。用排水路等への影響につきましては、雨水等は道路側溝及び排水管等を設置し放流します。また、土地改良事業につきましては、実施していません。このことから、農用地区域からの除外は、やむを得ないものと判断されるところです。以上で、補足説明を終わります。ご審議方宜しくお願い致します。

議 長 只今、現地調査員の報告並びに事務局から補足説明のありました案件について、審議をお願いします。

議 長 質問、ご意見はございませんか。

田中委員 1番目の案件は農業用倉庫ですが、なぜ農用地区域から除外するのですか。

農地係長・事務局長 16ページの図面を見ていただきますと、北側が倉庫部分で、そこには進入路がありませんので、下（南）の方に縦長の部分を分けていただき進入路を作る予定です。北側の農業用倉庫それだけであれば用途区分だけで済みますが、道路が含まれば除外をするよう県の指導を受けています。

議 長 他に質問、ご意見はございませんか。

委 員 「なし」の声あり

議 長 質問、ご意見がありませんので、採決いたします。
議案第64号 農業振興地域整備変更計画書（案）については、申請理由からしてやむを得ない変更として適当意見とすることにご異議ございませんか。

委 員 「異議なし」の声あり

議 長 異議なしと認めます。
よって、議案第64号については、申請どおり適当意見とすることに決定いたします。

議 長 次に、日程第6 議案第65号 農地法第3条許可申請に対する許可についてを議題とします。事務局に提案説明をいたさせます。

農地係長

それでは、農地法第3条の規定による農地等の権利移動の許可申請に対する許可についてご説明申し上げます。資料は22ページからになります。今回の申請は、所有権移転7件、賃借権設定1件であります。まず所有権移転についてですが、譲渡人は穎娃町〇〇の〇〇〇〇さん、譲受人は穎娃町〇〇の〇〇〇〇さん 他6件の申請であります。

申請の内訳は、畑が14筆で18,085㎡となっています。理由は、2番・4番・7番が親族からの受贈、3番は譲渡人の労力不足により取得するもの、他は規模拡大によるものとなっております。土地の取引価格につきましては、10aあたり600,000円から700,000円で売買される予定です。地域別では、穎娃地域4件、知覧地域1件、川辺地域2件となっております。

次に賃貸借権設定についてですが、貸し人は知覧町〇〇の〇〇〇〇(さん、譲受人は知覧町〇〇の〇〇〇〇さんの申請であります。申請の内訳は、畑が2筆で7,399㎡。理由は、社会福祉事業の運営のためとなっております。法第3条第2項各号の判断については、25ページから28ページの調査書のとおりでございます。併せまして所有権移転の7番は、耕作面積が下限面積未満のため、賃貸借権設定1番は参考のため、営農計画書を添付してありますのでご確認ください。以上の案件については、農地法第3条第2項各号には該当しないため、事務局としましては、許可要件のすべてを満たしていると判断いたします。以上でございます。

議 長 只今、事務局から説明のありました案件について審議をお願いします。

議 長 質問、ご意見はございませんか。

委 員 「なし」の声あり

議 長 質問、ご意見がありませんので、採決いたします。
議案第65号の、所有権移転及び賃借権設定に係る、案件については申請どおり許可することにご異議ございませんか。

委 員 「異議なし」の声あり

議 長 異議なしと認めます。
よって、議案第65号の、所有権移転に係る7件及び賃借権設定に係る1件、の案件については、すべて申請どおり許可することに決定いたします。

議長 次に、日程第7議案第66号農地法第4条許可申請に対する許可並びに意見聴取決定についてを議題といたします。まず、現地調査員の報告を求めます。

川辺地区調査員の報告をお願いします。

今市委員 去る10月18日、外菌委員と事務局との4人で、関係者立ち会いのもと、転用許可申請に係る現地調査を実施しましたので報告いたします。先ず、審議番号1番の申請人は、川辺町〇〇の〇〇〇〇さん、申請農地は、川辺町〇〇ほか1筆の畑で、申請面積は4,648㎡です。転用目的は、申請地は山間部にあり、周囲は山林で日照条件が悪く、鳥獣被害や自然災害も発生するなど生産性が低いため、杉を植林し山林として管理しようとするものです。申請地は、川辺庁舎から〇〇に直線で約〇〇の〇〇の近くにありますが、詳細は33・34ページの地図をご覧ください。申請地の西側は道路に、南側は道路と山林に、他は山林に接しています。現状のままで利用しますが、隣接する農地はないため、土砂流出、日照通風等については特に問題はありません。このことから、転用はやむを得ないものと判断しました。

次に、審議番号2番です。申請人は、川辺町〇〇の〇〇〇〇さん、申請農地は、川辺町〇〇の田、439㎡で、転用目的は、現在の住宅が手狭で、老朽化しているため、新たに住宅を新築しようとするものです。なお、現在の住居は新居完成後に取り壊す予定とのこと。申請地は、川辺庁舎から〇〇に直線で〇〇の〇〇にありますが、詳細は35・36ページの地図をご覧ください。申請地は宅地と道路に接し、隣接する農地はなく、現状のままで利用するため土砂流出、日照通風等については特に問題はありません。このことから、転用はやむを得ないものと判断いたしました。以上で報告を終わります。ご審議方よろしく願いいたします。

議長 ここで、事務局に補足がありましたら説明を求めます。

川辺分室 それでは補足説明を申し上げます。

先ず審議番号1番です。立地基準は、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い農地であることから、第2種農地のその他の農地と判断されます。一般基準の資力及び信用については、必要な資金は、全額自己資金で賄うとのこと、関係書類で確認できました。また、過去に違反転用等はないことから、信用についても問題ないと認められます。転用行為の妨げになる者の有無について、台帳を確認したところ該当する者はなく、申請用途に遅滞なく供することも確実で

あると思われます。関係行政庁の免許，許可，認可等については特に必要ありません。

次に，審議番号2番です。立地基準については，都市計画法で第一種中高層住居専用地域として用途地域が定められていることから，第3種農地の都市計画用途地域内農地に該当すると判断されます。一般基準の資力及び信用については，必要な資金は，全額自己資金で賄うとのことで，関係書類で確認できました。また，過去に違反転用等はないことから，信用についても問題ないと認められます。転用行為の妨げになる者の有無について，台帳を確認したところ該当する者はなく，申請用途に遅滞なく供することも確実であると思われます。関係行政庁の免許，許可，認可等については特に必要ありません。このことから，これ等2件については，申請目的への転用はやむを得ないと判断するところでございます。以上で補足説明を終わります。ご審議方よろしく願いいたします。

議 長 只今現地調査員の報告並びに事務局の補足説明のありました案件について審議をお願いします
質問，ご意見はございませんか。

東 委員 審議番号1番についてですが，ここは確かみかん園になって居たと思いますが，みかんを伐採して，すぐ杉を植林するのでしょうか，それとも何か建設のために土を取って造成した後に植林をする計画なののでしょうか

川辺分室 杉を植えて山にしたいという事なので杉を植えるのだと思います。

議 長 よろしいですか

東 委員 はい

議 長 他に質問，ご意見はございませんか。

委 員 「なし」の声あり

議 長 質問，ご意見がありませんので，採決いたします。
議案第66号の案件については，申請理由からしてやむを得ないものとして申請どおり許可し，県農業会議へ意見聴取することにご異議ございませんか。

委員 「異議なし」の声あり

議長 ご異議なしと認めます。

よって議案第66号の案件については申請どおり許可し、県農業会議へ意見聴取することに決定されました。

議長 次に、日程第8議案第67号 農地法第5条許可申請に対する許可並びに意見聴取決定についてを議題といたしますが、まずもって現地調査員のご報告を求めます。

まず、所有権移転の穎娃地区分1件の報告をお願いします。

楢山委員 それでは、農地法第5条所有権移転について現地調査の報告をいたします。審議番号1番について、譲受人は〇〇の〇〇〇〇さん、譲渡人は〇〇の福永 俊伸（フカガ トシユ）さんです。現在、借家住まいで、今回、実家に隣接する申請地及び宅地を一体利用して住宅を新築しようとするものです。申請地は、穎娃町〇〇の畑で、申請面積は99㎡です。宅地と合わせた全体面積は508㎡となります。穎娃庁舎から〇〇に直線で〇〇の〇〇にあります。詳細は39ページ・40ページの地図をご覧ください。申請地の北側は宅地に、東側は畑に、南側は道路に、西側は一体利用する宅地に接しております。30cmの盛り土を行いますが、農地との境界はブロック積みとしますので土砂流出等の恐れはありません。雨水は道路側溝へ、汚水・生活雑排水も浄化槽で処理し道路側溝へ放流します。日照通風等については平屋建てとし農地境界から3.5メートルの緩衝地を設けるので影響を及ぼす恐れはありません。これらのことから、本案件については、申請農地の転用はやむを得ないものと判断しました。以上です。

議長 次に、知覧地区分1件について報告をお願いします。

松村委員 38ページ、審議番号2番です。譲受人が、知覧町〇〇の〇〇〇〇さん、譲渡人が、知覧町〇〇の〇〇〇〇さんです。申請農地は、知覧町〇〇の畑の255㎡です。申請人が、申請地の隣地を購入し一般住宅を建築中であるが、その進入路として申請地を転用するものです。現地の場所は、知覧庁舎から〇〇に直線で〇〇ほどの〇〇に位置します。詳細は、議案資料の41・42ページの地図をご覧ください。申請地は、北側と南側は畑に、ほかは道路に

接しています。現状のままで利用するので、土砂等が流出する恐れはなく、また雨水は、道路側溝に放流します。日照通風等については、通路としての利用で、特に問題はないと判断しました。このことから、申請農地の通路への転用は、やむを得ないものと判断いたしました。

現地調査の報告を終わります。ご審議方よろしく願いいたします。

議 長 次に、川辺地区分1件について報告をお願いします。

外菌委員 それでは川辺地区の案件について報告いたします。

審議番号3番の譲受人は、〇〇の〇〇〇〇さん、譲渡人は、川辺町〇〇の〇〇〇〇さんです。申請農地は、川辺町〇〇の畑で、面積は409㎡です。転用目的は、申請地周囲には障害物がなく太陽光発電に適した場所であり、現在不耕作で、今後も耕作の見込みがないことから、太陽光発電施設を設置しようとするものです。申請地は、川辺庁舎から〇〇に直線で〇〇の〇〇にあります。詳細は43～45ページの地図をご覧ください。申請地の西側と南側は道路に、他は不耕作の田に接しています。最高0.5mの盛り土、切り土行いますが、北側と東側に接する農地より低いいため、土砂流出等の恐れはなく、雨水は、自然流下で道路側溝へ流し込みます。日照通風等についても、設置高が低いことから影響を及ぼす恐れはありません。このことから、転用はやむを得ないものと判断いたしました。以上で報告を終わります。ご審議方よろしく願いいたします。

議 長 ここで、事務局に補足がありましたら説明を求めます。

農地係長 それでは、穎娃地域の1件について説明します。資料は、38ページからになります。まず、立地条件については、JR水成川駅の300m以内にあることから、第3種農地の「300m以内農地」に該当すると判断されます。一般基準の資力及び信用ですが、必要な資金については、自己資金と父親からの援助で賄うとのことあります。また、過去に違反転用等行ったこともないことから、信用についても問題ないと認められます。転用行為の妨げになる者の有無について、台帳を確認したところ該当する者はありませんでした。申請に係る用途に遅滞なく供することの確実性については、許可後の速やかな転用は確実と思われ、問題ないと思われれます。関係行政庁の免許、許可、認可等については、特に必要ありません。このことから、穎娃地区の申請については、利用目的

への転用はやむを得ないと判断するところでございます。
以上です。

知覧分室

審議番号2番について、補足説明いたします。
立地基準ですが、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い農地に該当することから、第2種農地のその他農地と判断されます。続きまして、一般基準の資力及び信用ですが、申請者は過去に違反転用等を行ったことが無く、必要な資金については融資でまかなう計画で、申請書に添付されました書類で確認ができていますので適当であると考えます。転用行為の妨げになる者は、農家台帳を確認しましたところ該当するものはいません。関係行政庁の免許、許可、認可等については、特に必要ありません。また、許可後の速やかな転用も確実であると思われれます。このことから、転用はやむを得ないと判断するところです。以上で補足説明を終わります。ご審議方宜しくお願い致します。

川辺分室

それでは補足説明を申し上げます。
審議番号3番です。立地基準は、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い農地であることから、第2種農地のその他の農地と判断されます。一般基準の資力及び信用については、必要な資金は、自己資金と金融機関からの融資で賄うとのことで、関係書類で確認できました。また、過去に違反転用等はないことから、信用についても問題ないと認められます。転用行為の妨げになる者の有無について、台帳を確認したところ該当する者はおりませんでした。また、申請用途に遅滞なく供することも確実であると思われれます。関係行政庁の免許、許可、認可等については、経済産業省の設備認定と九州電力の工事費負担金請求が確認できました。他は特に必要ありません。このことから、川辺地区1件については、申請目的への転用はやむを得ないと判断するところでございます。以上で補足説明を終わります。ご審議方よろしくお願ひいたします。

議 長

只今現地調査員の報告並びに事務局の補足説明のありました案件について審議をお願いします。

質問、ご意見はございませんか。

委員 「なし」の声あり

議長 質問、ご意見がありませんので、採決いたします。
議案第67号 農地法第5条申請に対する許可並びに諮問決定に係る案件については、申請どおり許可し、県農業会議へ意見聴取することにご異議ございませんか。

委員 「異議なし」の声あり

議長 ご異議なしと認めます。
よって議案第67号に係る案件については、申請どおり許可し、県農業会議へ意見聴取することに決定されました。

議長 次に、日程第9議案第68号 農業経営基盤強化促進法の規定による農用地利用集積計画に対する意見決定についてを議題といたします。事務局に提案説明を求めます。

農地係長 農業経営基盤強化促進法 第18条第1項の規定による農用地利用集積計画の意見決定について説明いたします。47ページからになります。「所有権移転」についてですが、譲渡人は、〇〇の〇〇〇〇さん、譲受人は穎娃町〇〇の〇〇〇〇さん 他6件であります。所有権移転の理由は、2番と3番は自作地相互の交換、ほかは規模拡大によるもので、地目の内訳は、田が5筆4,029㎡、畑が9筆15,684㎡、合計14筆19,713㎡となっております。申請農地の取引価格については、田が10aあたり300,000円、畑が700,000円で売買される予定です。地域別では、穎娃地域1件、川辺地域6件となっております。次に、「賃貸借利用権」の設定であります。50㍻から67㍻です。利用権を設定する者は、〇〇の〇〇〇〇さん、利用権の設定を受ける者は、穎娃町〇〇の〇〇〇〇さん ほか57件になります。設定面積は、田が46筆で44,878㎡、畑が134筆で268,175㎡、合計180筆の313,053㎡になります。地域別では、穎娃地域が16件、知覧地域が36件、川辺地域が6件、合計58件で、このうち農地中間管理事業によるものが41件、202,647㎡となっております。次に、「使用貸借利用権の設定」であります。68㍻から88㍻になります。利用権を設定する者は、穎娃町〇〇の〇〇〇〇さん、利用権の設定を受ける者は、穎娃町〇〇の〇〇〇〇さん 他81件であります。設定面積は、田が86筆62,833㎡、畑が131筆213,335㎡、合計217筆276,168

m²であります。地域別では、穎娃地域 20 件、知覧地域 57 件、川辺地域 5 件、合計 82 件で、このうち農地中間管理事業によるものが 73 件、230,013 m²となっております。以上でございますが、全ての案件について利用集積計画を確認しましたところ、その内容は基本構想に適合し、その農用地の全てにおいて耕作又は養畜の事業を行い、また事業に必要な農作業に常時従事し、その土地を効率的に利用することが認められ、併せて当該土地に権利を有する者の全ての同意が得られていることを確認いたしました。以上で説明を終わります。

議長 只今説明のありました案件について審議をお願いいたしますが、賃貸借利用権設定の番号 2 番については實代委員が、番号 3 番については永山委員が、議事参与の制限に該当しますので、まず、該当者のいない案件について、全委員で審議いたします。

質問、ご意見はございませんか。

委員 「なし」の声あり

議長 質問、ご意見がありませんので、採決いたします。

議案第 68 号 農業経営基盤強化促進法の規定による農用地利用集積計画に係る案件の内、賃貸借利用権設定の番号 2 番と 3 番、を除く案件については、申請どおり適当意見とすることに、ご異議ございませんか。

委員 「異議なし」の声あり

議長 異議なしと認めます。

よって議案第 68 号の案件の内、所有権移転の 7 件と賃貸借利用権設定の番号 2 番と 3 番、を除く 58 件、使用貸借利用権の設定の 82 件については、申請どおり適当意見とすることに決定しました。

議長 引き続き、議案第 68 号のうち、議事参与の制限に該当する案件について審議を行います。實代委員、永山委員にお諮りします。議事の進行上、議事参与の制限に該当する案件については、一括して議事を進行したいところであります。ご異議ございませんか。

関係委員 「異議なし」の声あり

議長 異議なしと認めます。
それでは、議事参与の制限に該当する案件について審議を行いますので、関係委員の退室を求めます。
(寶代委員，永山委員 退室)

議長 これより，質疑を行います。質問，ご意見はございませんか。

委員 「なし」の声あり

議長 質疑がございませんので，採決いたします。
議案第 68 号 農業経営基盤強化促進法の規定による農用地利用集積計画の内，賃貸借利用権設定の番号 2 番と 3 番、については，申請どおり適当意見とすることにご異議ございませんか。

委員 「異議なし」の声あり

議長 異議なしと認めます。よって，議案 68 号の内，議事参与の制限に該当する案件については申請どおり適当意見とすることに決定いたします。関係委員の入室を許可いたします。
(寶代委員，永山委員，入室)

議長 関係委員に報告いたします。議案第 68 号農業経営基盤強化促進法の規定による農用地利用集積計画のうち，議事参与の制限に該当する案件については申請どおり適当意見とすることに決定されました。

議長 次に，日程第 10 議案第 69 号 非農地証明願いについてを議題といたします。まずもって，現地調査委員の報告を求めます。
まず，穎娃地区分について報告をお願いします。

栗ヶ窪委員 それでは，非農地証明願いに係る現地調査の報告をいたします。申請人は，穎娃町〇〇の〇〇〇〇さんです。申請地は，穎娃町〇〇 ほか 3 筆の田で，520 m²になります。申請地は，穎娃庁舎から〇〇に直線で〇〇の〇〇の北側にありますが，詳細は 91 ページ 92 ページの地図をご覧くださいと思います。いずれの申請地も，周囲は現況が山林や原野が混在した場所であり，進入路もなく，20 年以上耕作されていない山林・原野で，今後も耕作

される見込みはなく、復元は極めて困難であり、周囲の状況から判断しましても、非農地とすることに何ら支障はないものと判断しました。以上です。

議 長 ここで、事務局に補足がありましたら説明を求めます。

農地係長 ただいま、報告がありました非農地証明の交付基準には、「農地法が適用される以前から非農地であった土地」「自然災害による災害地で農地への復旧が困難であると認められる土地」「農業振興地域の整備に関する法律で定める農用地区域外」の土地で、原則として 20 年以上耕作が放棄され、将来的にも農地として使用するのが困難であり、農地行政上も特に支障が無いと認められる土地」があります。申請地は、農振農用地区域外で、これまで 20 年以上耕作されておらず、将来的にも農地として使用することが困難で、農地行政上も特に支障が無いことから、非農地と判断することに支障はないものと思われまます。以上でございます。

議 長 只今現地調査委員の報告並びに事務局の補足説明のありました案件について審議をお願いします。質問、ご意見はありませんか。

委 員 「なし」の声あり

議 長 質問、ご意見がありませんので、採決いたします。
議案第 69 号 非農地証明願いについては、申請理由からしてやむを得ないものとして、申請どおり証明書を交付することにご異議ございませんか。

委 員 「異議なし」の声あり

議 長 ご異議なしと認めます。
よって議案第 69 号については、申請どおり証明書を交付することに決定します。

議 長 次に、日程第 11 議案第 70 号 農業委員会法 38 条による要望書の草案の承認についてを審議いたします。まずもって事務局の説明を求めます。

事務局長 農業委員会法 38 条による要望書の草案とは何かといいますと。基本こ

れまで農業委員会法第6条第3項で他の行政庁に建議をし諮問に応じて答申をすることが出来るようになっております、これが農業委員会の業務として法的にしなければならないとなっていました、今回の改正によりまして意見要望するのは当たり前のことなので削除されました、しかし農業委員会法38条の中に、農業委員会は、その所掌事務の遂行を通じて得られた知見に基づき、農地等の利用の最適化の推進に関する事項に関する事務をより効率的かつ効果的に実施するため必要があると認めるときは、農地等の利用の最適化の推進に関する施策を企画立案し、又は実施する関係行政機関又は関係地方公共団体に対し、農地等利用最適化推進施策の改善についての具体的な意見を提出しなければならない。となっていますのでこれに基づき草案をまとめていただきましたので、読んで提案したいと思います。

『「太陽光施設等の再生可能エネルギー発電設備に関するガイドライン作成に関する意見書（案）」

南九州市内でも、ここ数年の大規模の太陽光発電施設の設置により、少なくならず農地が減少しています。

我々農業委員会としては、これらの太陽光発電施設設置にかかる転用申請については、農地法等の許可要件を満たせば許可意見として回答せざるを得ないのが現状です。しかしながら、優良農地及び農業振興のためにある農業振興地域内の農用地に対する除外申請も含め、最近の太陽光発電施設による農地の転用申請には目に余るものがあります。また、施設用地の賃貸借や用地取得において高額な条件を提示し買収しているとも聞き及びます。

太陽光発電施設用地への農地転用からの優良農地の維持確保、またこれら発電施設用地からの大量の雨水の農道も含め一般道路への流出や土砂の流出による近隣農地への被害、大規模開発による地域住民の不安、将来不要になった時の施設撤去やその後の活用策等といろいろ危惧するところがあります。つきましては、これらの被害を未然に防ぐ手立てとして、また地域住民等への不安解消策として、南九州市としての太陽光施設等の再生可能エネルギー発電設備に関するガイドライン等の作成の要望を、農業委員会法第38条により提出します。』以上です。

議長 只今事務局より説明のありました案件について審議をお願いします。質問、ご意見はありませんか。

委員 雨水の排水対策や農地への被害等についてもっと詳しく記述できない

かまた、早急に作成するよう文言を挿入できないか

事務局長 「道路への濁流の発生や施設用地からの土砂流出による近隣農地への被害が発生」とし、また「ガイドライン等を早急に作成」と修正したいと思います。

議長 他に質問、ご意見はありませんか

委員 「なし」の声あり

議長 質問、ご意見がありませんので、採決いたします。
議案第 70 号の草案については原案を一部修正し農業委員会の意見として市長あてに要望することに異議ありませんか

委員 「異議なし」の声あり

議長 ご異議なしと認めます。
よって議案第 70 号については、原案を一部修正し市長あてに要望書を提出することに決定しました。

議長 次に、日程第 12 その他でございますが、委員の方々から何かございませんか。

委員 「なし」の声あり

議長 無いようでございますが、事務局は何かございませんか

事務局長 先ほど太陽光の要望書について決議を頂いたところで申し訳ないですが、3年ほど前から〇〇〇〇の農地について、これは〇〇用地ですが、ここに太陽光発電を設置したいとの話があり農政課等と協議をしてまいりました。これまで〇〇開発をした土地は第1種農地という事で転用はできないと回答をしてまいりました。このほど〇〇開発に係る面積が約1万㎡という事が判明をしたところで、この事につきまして畜産課と施行者と協議をしましたところ、補助金返納の必要は無いとの回答があったようです。特に現地をご存知の方は、判ると思いますが、平地と12%以上の傾斜地の〇〇

という事で斜面を使った部分についても〇〇という事で農地扱いになっていたようであります。今回、県農村振興課と協議をする中で平地の条件のいいところについては第1種農地として残し、後の急傾斜地、傾斜地、それから木陰を作るために木が植えられ、現在山林化している土地については、非農地として判定できないか指導を受けました。そこで平地、傾斜地に、振り分けを整理し近日中に、非農地証明願いの申請が出てくるようです。非農地の現地調査を〇〇地区の担当委員で転用調査と併せて実施するとなると大変ですので、転用調査とは別に、今回太陽光のガイドラインの草案を検討いただいた6名の方に現地調査をして頂き非農地の判断が出来ないかお諮りしたいところです。

議 長

ただいま事務局長の方から話がありましたように、〇〇地区の皆さんはすでにご存じかと思いますが、〇〇〇〇の用地が農地中間管理事業や、そのほかそれぞれ借り手はいないかというようなこと等で協議を致していたところですが、借り手がないというようなこと等から、今この様な状況になっているところがございます。広大な土地を遊ばせておくのも勿体無いし、見た目あまり芳しくない状況でもございますので。今回そういう非農地として判断できるような土地は非農地として判断し、その太陽光等の設置を認めたらとの考えもあるようでして、その辺の協議につきまして、できれば皆さん全員見ていただければ良いのですが、大変広大で入り組んだ所でございますので、我々もちょっと行けるような所ではないようでございますので、先般協議を頂いた6名の皆さんと出来れば〇〇地区委員の皆さんは見ていただきたいところですが、その様に取り扱ってよろしいかお諮りいたします。質問、ご意見はありませんか。

田中委員

なぜ、先般の委員6名なのかその真意が解りません。併せて〇〇地域の委員は、早くから審議をされているのであれば、全員見られた方がいいのではないのでしょうか。

事務局長

会長と協議する中で、〇〇地域の委員でみればという話が出てきましたが、今後他の地域でも同じような案件が出ないとも限らないのでとの考えです。又、人選をどうするかという中で、先般お願いした委員さんがいましたので、どうだろうかとのことでこ

これは私の私案でございます。この会議で他に推薦していただければそれで宜しいのではと考えます。

議長 ○○地域の方でとの考えもあったようですが、今後他の地域にも同じような案件が出ないとは限らないので、今回ガイドライン作成要望書の作成にあたった6名にとの考えだったようですが、この会議で皆様の意見をお聞かせください。

議長 暫く休憩いたします、自由にご意見をお願いします。

(休憩時の主な意見)

各委員 排水問題等の危惧や事前の地元説明会をお願いしたい旨の意見など出て、全員で調査をすればとの声あり。

議長 休憩前に戻ります。ただ今審議に上がっている件につきましては排水問題等の危惧に対する対策や、事前の周辺地の地権者や、川下の自治会への説明会など実施をお願いし、地域住民の同意を得たうえで非農地申請が出た場合は全員で現地調査を実施するという事で、宜しいでしょうか。

委員 「異議なし」の声あり。

議長 異議なしとありましたのでその様にしたいと思います。
他に何かありませんか

川辺分室 川辺地区の農業者年金の推進名簿について説明有

農政係長 11日の研修会について説明有

事務局長 今後の日程について連絡する。

議長 只今の件について、ご質問はございませんか。

委員 「なし」の声あり

議長 他にございませんか。

委員 「なし」の声あり

議長 無いようでございますので、以上で本日の総会に付議されました全案件の審議は終了いたしました。

議長 これにて本日の会議を閉じ、併せて平成28年第10回南九州市農業委員会を閉会いたします。ご起立願います。

事務局長 「一同 礼」

閉 会 午後4時30分

南九州市農業委員会会議規則第19条第2項の規定により署名する。

南九州市農業委員会議長 _____

会議録署名委員 23番 _____

会議録署名委員 24番 _____